

審査において
こんな質問がされました

㉑ 水防計画の変更や修正時に地域防災計画（風水害対策編）との一体性が必要と考えるが、どのように対応しているのか。また、地域独自の計画はあるのか。

㉒ 菊川市水防計画は、水防法及び災害対策基本法に基づき作成し、修正は国や県の上位計画に基づき行っている。菊川市地域防災計画では、一般対策編の中で水防計画を位置づけ、水防上、必要な情報の収集や伝達、避難などを定めている。水防計画と地域防災計画との一体性は、水防計画の変更に伴い必要に応じ地域防災計画の修正を行い整合を図っている。地域独自の計画は、水防配備体制や基準、水防資機材、避難場所、浸水想定区域における災害時の要配慮者利用施設などを菊川市独自で定め掲載している。

㉓ 就労支援事業費、企業見学バスツアーの見学企業はどこか。また、なでしこワークやセミナー、見学バスツアーにより実際に就職に繋がった件数と事例、効果は。

㉔ 企業見学バスツアーは、落合刃物、川崎工業、三共静岡製作所、東芝キャリア掛川開発センター、日東工業菊川工場、フジオーゼックス、フライスター東海工場、松下金属工業小笠工場、ミクニ菊川事業所の9社であった。ツアー参加者は19名であり、このうち高校生1名が見学した事業所への就職が決



まった。バスツアーの効果は、コロナ禍で事業者説明会がオンラインによる開催が増えているため、実際に事業所で働いている様子を見学し、自身がその企業で働く姿をイメージできることで企業への関心を高めることに繋がっている。また、就職希望者と企業の勤務内容等とのミスマッチを防ぐ効果もある。なでしこワークは、ハローワークと共催で8回実施しており、延べ225人が参加し、就職が決まった人数は、ハローワーク登録者分で9名であった。なでしこワークや女性活躍推進事業によるセミナー等は就職に結びつけるためのスキルアップ支援、仕事復帰に対する不安解消にも繋がっているものと考えている。

㉕ マイナンバーカードの交付率向上予測と事務の効率化は。また、交付率向上に向けたPRや取り組みは。

㉖ 交付率は、本年8月末時点で49・1%となっており、昨年

度末から3・8ポイント上昇している。このペースで交付件数が伸びていくと、令和4年度末には52から53%になると予測している。行政手続等では、転入や転出手続きの際にマイナンバーカード情報を読み取ることシステムへの入力作業が一部省略できる。また、証明書等のコンビニ交付は市民課窓口での処理件数軽減や混雑緩和につながっている。今後もカードを持つこととのメリットについて周知を行うとともに、先進自治体の取組事例を参考にしながら市民がカードを申請しやすい環境づくりに努めていく。

㉗ 埋蔵文化財センターの施設老朽化による雨漏りの展示資料への影響は。顕彰活動団体等や図書館と連携し、不用となった公共施設等で菊川市の歴史を紹介する計画はできないか。

㉘ 埋蔵文化財センターの雨漏